

贈る言葉



君島市長

自分に誠実に
夢や希望を持って――

本日でめでたく成人式を迎えられました皆さん、誠におめでとうございます。これから、成人としての権利と義務が認められるとともに、社会の一員として自らの判断と責任において行動することが求められます。

皆さんには、大いなる活力と可能性がございます。これからの人生、順風のときもあれば、逆風が吹く局面もあるかと思いますが、自分に誠実に、そして周囲への感謝の気持ちを忘れずに、夢や希望の実現に向けて邁進していただきたいと思っています。

おとな 社会人としての誓いの言葉

仲間と苦難を乗り越え 地域を支える社会人になりたい

成人を迎えた皆さんの中には、進学をした方、就職をした方、結婚をした方など、それぞれの人生を歩んでいる事と思います。これまで多くの人と出会い、支えられ、そして、今後もたくさんの人と出会い、成長していくことでしょ

う。人生という道の中で壁が立ちちはだかることや苦しいこともあると思いますが、自分を信じ、仲間と励まし合い、乗り越えていきます。そして、これからは、支えられるだけでなく、地域を支える社会人になりたいと思います。



大林 裕太(黒磯中)

西那須野会場



松本 康佑(三島中)

"人生に失敗はない" 強い信念を持って歩んでいきます

アトランタオリンピックの年に生まれた私たちですが、昨年のリオオリンピックでは新体操代表・白井選手などの同学年の選手を応援し、また彼らの活躍を誇りに思い、感動する年齢になりました。2020年には、きっと私たちの仲間がさまざま

な形で東京オリンピックに携わっていると思います。今まで関わってきた全ての人々への感謝と、自分は何者かになれる「世界に1つだけの花」である、「人生に失敗はない」、そういった信念を強く持ち、歩き続けていくことを誓います。

塩原会場



吉沢 勇哉(帯根中)

親元を離れて偉大さを実感 救急救命士の道を目指す

私たちは、20年前、この世に誕生し、家族の愛情をたくさん受け、育ってきました。高校卒業後に大学へ進学し、親元を離れ、改めて両親の偉大さやありがたさを感じることができました。大学では、幼い頃から興味を持っていた救急医療につ

て学んでいます。卒業後は、救急救命士として災害現場やさまざまな現場で活躍していきたいです。まだまだ未熟ですが、一人前の社会人を目指し、どんな時も相手の立場になって考えることのできる人になりたいです。



開会にあたり、国歌を斉唱する新成人。式典は多くの保護者も見守った

思い出と夢を胸に

二十歳の門出



特集

今年、那須塩原市で1222人が成人を迎えた。それぞれが思い描く夢は違えど、自分のために、誰かのために飛躍したい…その思いは皆同じ。中学卒業から5年――喜怒哀楽を共にした旧友との再会、20年間見守ってきた家族の眼差し。二十歳の門出を迎え、夢を抱く新成人の心境を綴る。

1 月8日、少しひんやりとした晴天の下、黒磯文化会館、三島ホール、ハロープラザの3会場で成人式が行われ、989人の新成人が社会人としての決意と責任を誓った。今年の内市の新成人は合計1222人。

「久しぶりー」
「誰かと思った(笑)」
「今何してるの？」
式の開会を待つ会場の入口では、旧友との再会を喜び、思い出話や近況報告でひとしきりに盛り上がる。スマートフォンで自撮りする姿も当たり前に見られるようになってきた。そんな我が子の姿を、少し離れたところから見守る親御さんの後ろ姿は、少し寂しそうにも感じられた。

式典は、高校生による吹奏楽の演奏や郷土芸能などのアトラクションを皮切りに、成人者へ祝辞や記念品が贈られた後、代表者が誓いの言葉を述べた。恩師のあいさつや中学時代のスライドショーでは、昔の思い出を振り返り、笑い声で会場がわく場面も。

ついに巡ってきた二十歳の門出。それぞれに20年間の歴史があり、抱く夢もそれぞれ。新しいスタートラインに立った1222人の今後の飛躍を願う、祝いと誓いの式典となった。



1211 中学時代を振り返るスライドショー 13 新成人への記念品贈呈。実行委員が選んだタンブラー、トートバッグが贈られた 4 タイムカプセルをあけて、思い出の品と再会 5 スマートフォンで自撮り 617 黒磯会場のアトラクション(黒磯高等学校の吹奏楽部による演奏。ダンスも踊った) 8 恩師紹介。ユニークな紹介で会場をわかせる場面も 9 婦人会の協力により、緩んだ振袖の着付けが行われた 10 西那須野会場のアトラクション(那須野ヶ原疏水太鼓) 12 緊張の中、司会を務めあげた実行委員 13 塩原会場のアトラクション(流響塩原太鼓)